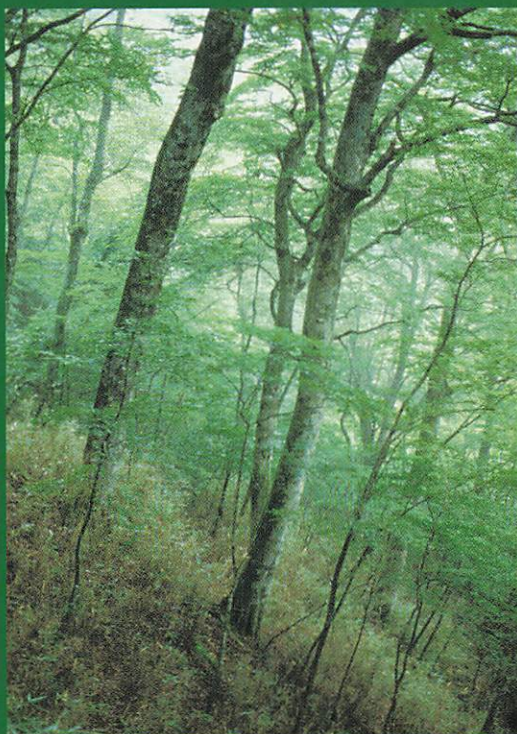




神奈川県立 生命の星・地球博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

TAZAWA



特別展

丹沢の自然

—その生い立ちと生きもの—

2003年11月1日(土)~2004年1月25日(日)





特別展

丹沢の自然

その生い立ちと生きもの

丹沢は、神奈川県を代表する自然の宝庫であり、「首都圏のオアシス」ともいえる貴重な場所です。しかし、その豊かな自然も、ブナの枯死やシカに関わる問題などにより、危機的な状況にあり、神奈川県では一九九七年に「丹沢大山自然環境総合調査報告書」をまとめています。この特別展では、その後の成果も交え、動物・植物・古生物・地学の全学芸員が丹沢の生い立ちと生きものについて紹介します。

生きもの

植物；キノコ；昆虫；貝類；魚類；両生・爬虫類；鳥類；哺乳類などの生きものを紹介します



生い立ち

丹沢の影も形もない；丹沢の素、製造中；丹沢の海は暖かかった？；丹沢の地下は、まだ熱いか？；丹沢山地、造成中；丹沢山地、完成；丹沢のすがた；丹沢をつくる岩石



観察会・講座

「秋の地形地質観察会」
11月3日(祝) 10時～15時
申込締切：10月17日(金)

かながわオープン・カレッジ
「丹沢の生い立ちを探る」
11月9・16・24・29日(全4日)10時～16時
受講料：5,000円
申込締切：10月24日(金)

「丹沢の虫と花」
日時：12月23日(祝) 10時～15時
申込締切：12月5日(金)

「フォッサ・マグナ要素の植物」
1月10日(土) 13時30分～15時30分
申込締切：12月22日(月)

*詳しくは博物館までお問い合わせください

トピックス

宙瞰図「丹沢」

人知れず働く菌類たち；昆虫における伊豆・箱根欠如要素；丹沢に進出した昆虫たち；丹沢のダニ異変；丹沢の猛禽類；石材として使われた緑の石；丹沢の地質がなぜ注目されるか；丹沢山麓のゾウ；丹沢の鉱物；衰退する森林
丹沢を楽しむコースガイド；立体メガネで見る丹沢
自然環境保全センターの取り組み



展示解説

それぞれ11時と13時30分の1日2回、特別展示室で開催

11月 9日(日) 植物と昆虫
11月30日(日) 地形と古生物
12月14日(日) 地質と古生物
12月21日(日) 植物と鳥類
1月11日(日) 総合(植物・哺乳類・地質・古生物)

*事前のお申し込みは不要です



自然環境フォーラム

「丹沢大山の保全と再生に向けて
～新たな自然環境管理システムの構築～」

11月15日(土)13時～17時

・基調講演 羽山伸一氏(日本獣医畜産大学)

・事例報告

①県から「丹沢大山保全対策の現状」

②丹沢大山ボランティアネットワークから

「同ネットワークの活動内容について」

・パネルディスカッション

「新たな自然環境管理の仕組みづくりと県民共働」

*はがき、FAX、メールで行事名、住所、氏名、電話番号を明記し、または電話で10月31日までにお申し込み下さい

〒231-8588横浜市中央区日本大通1

県環境農政部緑政課自然公園班

TEL:045-210-4315 FAX:045-210-8848

電子メール:szkoen.258@pref.kanagawa.jp

開館時間

9時～16時30分(入館は16時まで)

休館日

毎週月曜日(11/3、11/24、1/12は開館)

11/11、12/24、12/29～1/3、1/13

料金

65歳以上 特別展 無料 常設展 無料

20歳以上 200円 510円

20歳未満・学生 100円 300円

高校生以下 無料 無料

交通

箱根登山鉄道(小田急線急行乗り入れ)

入生田(いりうだ)駅から徒歩3分

国道1号「地球博物館前」交差点脇

(歩道橋に表示あり)

問い合わせ先

神奈川県立生命の星・地球博物館

〒250-0031 小田原市入生田499

TEL:0465-21-1515 FAX:0465-23-8846

電子メール plan@nh.kanagawa-museum.jp

http://www.city.odawara.kanagawa.jp/museum/g.html